



## 終わりは始まり



本日の修了式でお話した内容を紹介いたします。

今日で令和4年度が修了します。本当にあつという間だったように思います。君たちはどう感じていますか？早かったですか？遅かったですか？いろいろな感情をもって今日を迎えていることと思います。

今年は過去2年間に比べるとコロナの影響も少し緩和されました。予定していた様々な行事も実施することができました。とはいえ、これは何度も言いますが、先生方がたくさんの準備や努力をしてくれたおかげでもあり、君たちの努力のたまものでもあります。今日を迎えることができたことに感謝します。ありがとうございました。

話は変わりますが、日本の紙幣は1万円札、5千円札、2千円札、千円札があります。もうすぐ2千円札以外の紙幣のデザインが変わります。現在、1万円札の肖像画はだれか知っていますか？・・・今日は福沢諭吉について、少しお話ししたいと思います。

福沢諭吉は長崎と大阪で蘭学を学びました。蘭学(らんがく)とは、江戸時代にオランダを通じて日本に入ってきたヨーロッパの学問・文化・技術の総称のことです。

23歳のときには、江戸の藩邸で蘭学塾を開くことになりました。その翌年、外国人の多い横浜を訪れたところ、外国人は英語ばかり使っていて、オランダ語が通用しないことを知り、ショックを受けます。そこで独学で英語を勉強して、塾の教育を英学に切り替えます。

33歳の時には、「慶應義塾」(のちの慶應義塾大学)を設立、塾生から毎月授業料を取り入れた学校の運営はこれが初めてでした。

また、みんなもよく知っていることとしては、「天は人の上に人をつくらず、人の下に人をつくらず」で有名な著書『学問のすすめ』があると思います。今でいうと300万部売れた、大ベストセラーだったようです。そんな福沢諭吉が塾生に言った言葉を紹介します。

**学校で一番楽しいことは、好きな教科を持つことである。**

**学校で一番寂しいことは、注意してくれる友達のいないことである。**

**学校で一番惨めなことは、規則を破っても気にならないようになってしまうことである。**

**学校で一番醜いことは、授業の邪魔をすることである。**

**学校で一番尊いことは、父母や先生に感謝することである。**

**学校で一番美しいことは、落ちていたゴミを拾うことである。**

**学校で一番悲しいことは、人に迷惑をかけることである。**

『横堤中学校生徒10カ条』と重なる項目もたくさんあります。どんな学校にしていくかは君たち次第です。さあ！修了証を受け取った時点から、新年度へのスタートは始まっています。未来の扉を開けるために、努力を惜しまない有意義な春休みにしてください。

WBC 日本代表 **優勝**おめでとう！そして 感動をありがとう！